

○結婚 この男性の指と女性の指を左右に離しておいて、それを静かに相寄せると、結婚となる。

部下 「家来」と同じ手まね。

深い 「大層」の手まねをそのままの人差指の指頭を下にさす。

不快 五指の指頭を左にさし掌を内側にし、た右手を胸にあて、強い調子で前方へ弾ね返す。「胸くそ」の悪いこと。

不可能 「出来ない」と同じ手まね。

不機嫌 「機嫌」の仰の手まね。

福祉協会 幸せ―協会（連盟）

復讐 「五分五分」と同じ手まね。

不景気 商い（金銭の回転）―悪い。

不潔 「汚い」と同じ手まね。

不幸 孝行―適しない（はずれる）

富囊 「金持」と同じ手まね。

不在 「家」を表わした手まねの左手をそ

のまま残して置き、その下で五指の指頭を前方にさし掌を左側にして右手を素速く掃き取るように掌を内側に向ける、家の中にはいないことを表わしたもの。

不作法 作法―はずれる（適しない）

無事 「相変らず」と同じ手まね。

武士 指頭を前方斜め上にさした人差

指の両手を左腰に重ね（二刀帯び）―男性

不自由 「不可能」と同じ手まね。

不信 掌を内側にし指頭を上にした親指

と折り曲げた四指の間即ち人差指との間で顎

を挟み突き上げるようにする。「一杯喰う」

の反対の動作。

無精 「怠ける」と同じ手まね。

不正 「猾い」と同じ手まね。

防せぐ 掌を内側にして五指の指頭を自分

の胸にさして寄せて来る（攻め手）右手を、

五指の指頭を上にしたし掌を前に向けた左手で

遮え切り押し返えす。

不相応 適当でない。

不正直 「意地悪る」と同じ要領の手まね。

不思議 五指の指頭を上になしし掌を左側にした右手の人差指を口唇に十字につけると同時にその人差指をそのままにして他の四指を折り疊む。その時両頬をふくらませ、首をかしげる。

不足 「足らぬ」と同じ手まね。

普通 掌を前向けて指頭を前方稍々上にさせた人差指と指頭を前方稍々下にさせた親指（つまり両指間がひろく開かれて）の両手をびったり左右につけてから、両手を左右水平に離して行く。両手の人差指の線と親指の線が平行線をなす。「平均」「平行」「平等」の意味ともなる。

普通人 聲啞者に対する普通人のことで、

耳が聞え物言うことを表わす。即ち、指頭を上になした右手人差指を右から耳もとへ往復させ、これも指頭を上になした左手人差指を前方から口もとへ往復させる。この両手の運動は同時に行う。

仏教 仏一拜む一教え。

ぶどう 掌を下に向け五指の指頭を右になした左手をぶどう棚として、その下に、掌を上向け五指をまるく彎曲させた右手をくるくる廻わしながら、下に降して行く。ぶどうの房を表わした身振。

ふと 「急に」と同じ手まね。

布団 自分の左右何づれかの肩の上に布団を持って被せせる身振。

不似合 似合う——ない。似適しない。

舟 五指の指頭を前方になしし掌を上に向け、両手を左右につけ合わせ掌をまるくして舟の形をつくる。